

「看板：碗吉2023」

菅野弘之^{※1}

Sign : Wankichi 2023

Kanno Hiroyuki

『美術の教材研究（中学校美術・小学校図画工作・幼稚園造形表現）「教材：看板」から考える窯がなかったと仮定した視点からの教材考』^{※2}において窯がないことを仮定して考察した。今回は制作者としての立場で窯を用いて制作し、窯があることとないことの心境の往還を試みた作品。また、本作品は、教材の作品例として制作した作品である。

教材題材名：「サイン」（仮題） 作品名：「看板：碗吉2023」

素材：陶・石

特徴としては、試みによる陶の破壊を作品化しようとした作品である。

工芸分野としては、陶芸分野の技法と石工芸分野の技法を使用して制作されている。

※1 長崎大学人文社会科学域（教育）教授

※2 長崎大学教育学部紀要 第6集 令和2年3月発行



「碗吉2023」

